

こんにちは 訪問看護です！！

第11号
平成27年7月
訪問看護ステーション
かわもと



感染症の脅威

最近話題の感染症「MERS(中東呼吸器症候群)」。お隣韓国で深刻な事態になり話題となっています。韓国といえば山陰地方の対岸。米子空港からは直通便で約1時間半で行き来ができます。

「感染のメカニズムがまだ明確となっていない」「死亡率が4割近い」などの脅威報道される感染症が、近隣で流行しているということが、わたしたちに不安を与えます。

県では「万一の発生に備え、診療体制を整えている」「人から人へ簡単に感染する感染症ではない」と過剰な心配はせず、冷静に対応するように呼びかけています。実際MERS患者は、患者家族や感染症対策が不十分な医療機関の従事者に限られています。感染症対策を十分にしていれば、防ぐこともできます。

わたしたちができること、すべきことは基本的な衛生対策です。インフルエンザやノロウイルスなどの対策と同じく手洗い・うがい、消毒、そして健康管理に努めましょう。



社会医療法人仁寿会



こんにちは、**かんごろうさん**。
今日も暑いですねえ。体調はいかがですか？



やあ、訪問看護師の**なすこちゃん**。暑いのを。
この前先生にも熱中症にならんように注意しなさい
と言われたわ。

熱中症予防については、以前私からもお話ししま
したが、覚えていますか？

もちろん。
こまめに水分、塩分補給。涼しい所と涼しいかっこう、
じゃろう。

そうです。
ご高齢になると暑さを感じにくく、汗をかきにくいので
熱中症になりやすいから気をつけてくださいね。



熱中症予防のポイント

***部屋の温度をこまめにチェックしましょう。**

気付かないうちに室温が高くなっていることがあります。

***エアコンや扇風機を上手に使いましょう。**

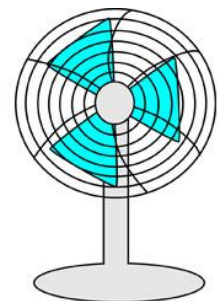
部屋に熱をこもらせないようにすることが大切です。

***こまめに水分、塩分を補給しましょう。**

のどの渇きを感じなくてもこまめな補給が必要です。

トイレが面倒だからと制限をしないようにしましょう。

***外出の際は日よけ対策、涼しい服装を。日陰を利用し、こまめに
休憩しましょう。**



かんごろうさんも熱中症で倒れないでね。



倒れたと言えば…、知り合いのじいさんが脳梗塞で倒れて医大病院に入院したんじゃ。退院できるらしいが、まだ体のことが心配らしいの。なすちゃんとこの訪問看護師は、医者さんがどこの病院でも来てごすんか？

もちろんです。

「訪問看護ステーションかわもと」の利用者さまそれぞれにかかりつけ医がおられるので、病院もさまざまになりますよ。

利用者さまは訪問可能な地域の方になりますが、訪問に際しての医師の指示は、川本町と周辺地域以外にも、県内各地の総合病院、個人病院等から受けて訪問させていただいています。時には県外病院の指示を受けることもありますよ。

その指示のもと看護サービスを提供し、利用者さまの様子を医師に報告します。

より良い在宅での療養生活が送れるよう、また緊急時には速やかな対処ができるよう連携を図っています。



訪問看護サービスを受けるには

医師の指示が必要です。かかりつけの医師とご相談ください。
介護保険を利用される場合、介護支援専門員の計画が必要です。
担当の介護支援専門員にご相談ください。



ユニフォームが
変わりました



夏は蚊の季節です

コマーシャルフレーズみたいですが、蚊に悩まされる季節になりました。

日本には約 100 種類の蚊が生息し、5 月～10 月下旬が活動時期と言われます。

刺されると赤く腫れて痒いというだけではなく、蚊は病原体を運ぶので厄介です。

日本脳炎やマラリアなどの昔から聞いたことのある病気、あるいは去年騒ぎになったデング熱も蚊が媒介となり感染する病気です。すべての蚊が病原体をもっているわけではありませんが、蚊に刺されない・蚊の発生を防ぐように気をつけましょう。

蚊に刺されない工夫

肌の露出をさげ、蚊に刺されにくい服装(長袖、長ズボン、明るい色)にする。

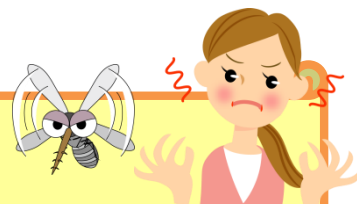
蚊取り線香、虫よけスプレーを活用する。

竹やぶ、森林、水田、草むら、墓地など蚊が多く発生する場所に出かけるときには、特に注意しましょう。



蚊の発生を防ぐ工夫

蚊は水面に卵を産みます。家のまわりに蚊が発生する水たまりを作らないことが大切です。わずかな水の量でも発生するので、屋外に空き缶やペットボトルなどを放置しない、鉢植えの水受け皿などに水を残さないようにする。溝や鴨居の掃除を行うなどが防ぐ工夫になります。



編集後記

「蚊が噛んだ～！かい～！」わたしは、なぜかよく噛まれるし、ひどく腫れあがります。ちなみに腫れるのは蚊の唾液が注入されることにより起こるアレルギー反応なんだそうです。そもそも、蚊は管を刺すのだから噛んではいませんよね。蚊に食われたと言うのも変。わたしの場合唾液注入が大問題になるから、「蚊にぶっこまれた～！」かな!?

中村



お問い合わせ

訪問看護ステーションかわもと 邑智郡川本町川本 376-4

TEL(0855)72-2636 FAX(0855)72-2640

仁寿会事務局 経営管理課 TEL(0855)72-3040